

進化する 三重大学 オリジナル ブランド

三重大学ではブランド商品の開発が積極的に行なわれています。「三重大学カレー」は16万食を超える大ヒットになるなど、キャンパス内や地域社会からの認知度も上がってきています。



附属農場で作られる様々な生産加工品



三重大学学長パウム

純米大吟醸 三重大学



大吟醸梅酒 三重大学



梅ジャムパン



三重大学カレー



01 三重大学カレー

おいしい三重大学、 人気です

2009年10月に発売された三重大学オリジナルブランド「三重大学カレー」が発売以降、順調な売れ行きを見せています。

「三重大学カレー」は、いまや三重県や大学にゆかりがない人たちの間にも人気が広まっています。その秘密は、普通のカレーとはちよっと違う、ほっとする優しい味にあるようです。



カツオダシの効いた、子どもからお年寄りまで楽しめる味のカレー

三重大学大学院生物資源学研究所所属の練習船、新「勢水丸」の竣工の記念品として、勢水丸をイメージしたレトルトカレーを開発することにしました。勢水丸でもカレーがよく作られていて人気のメニューだったそうです。

ヤマモリ株式会社の柴崎

さんは、生物資源学部のOBであり、旧勢水丸への乗船経験もあります。「学生時代、勢水丸で作業を続ける中で厨房からカレーの香りが漂ってくる、ほっとしたものです。その気持ちとおいしさをレトルトカレーの中に込めました」と話します。

海産物は食材として入れるのではなく、ダシに活かすことで「勢水丸らしさ」を出すことにしました。ダシには三重県でもよくとれ

る宗田鰯を使用しました。そして、内田船長や練習船のクルーに何度もカレーを試食してもらい、現在の味にたどり着きました。

「なにより母校に貢献できたことがうれしいですね。学生のとときに友人と『三重大のお土産ってないね』と話していたんです。だから、このカレーができて本当に良かったと思います」と柴崎さん。

大学院生物資源学研究所の久松真教授（現 同研究

科特任教授）は、「勢水丸のイメージにぴったりの、新ジャンルのおいしいカレーが誕生しました。おふくろの味のようなほっとする味です。」と太鼓判を押しています。

（Yui第5号 2010年6月発行より）

発売当初は大学内のみで販売されていたため、購入は三重大学の学生や教職員、OBらが中心でした。2010年4月より県内の

スーパーで販売されるようになると、一般の方にも認知されるようになり、「三重大学のカレーはおいしい」と徐々に人気広がっていききました。また、インターネット販売を通じた県外からの注文も多く、「三重大学がどこにあるのかわからないけれど、カレーはおいしい」という購入者のコメントがつけられるなど、三重大学のカレーというだけでなく、純粋に味の良さが評価されているようです。

2011年4月には販売数が10万食を突破しました。あるデパートのレトルトカレーのランキングでは、「食べてみたいカレー」の1位に輝きました。

現在では16万食以上が販売されており、三重大学の卒業生から「お歳暮の品に使用したい」との要望も寄せられています。そういった声を受け、三重大学ブランドの品々（三重大学カレー、